

釣りのある人生

水面にたゆたう、手にした魚の銀色のきらめき。
過ぎ去った興奮の余韻が、鼓動となって胸を打つ…。

魚と出会うこと。

釣りは、その瞬間を求めて試行錯誤を繰り返す遊びだろう。
しかし僕たち釣り人の喜びとは、それだけなのだろうか？

夜の港、潮止まりの時間。

釣友たちと竿を置き、コップを片手に語り合う。

親友と遠征で憧れの海を訪れ、

その美しさと素晴らしさを共有する。

様々な出会いや、ゆつくりと流れる時間…。

釣り人の喜びのそばに、魚の姿がないことだつてある。

仕事と生活、家族、そして釣り…。

社会の中で生活している僕たちは、

完全なる自由の中にいるわけではない。

だけど釣りという遊びとの関わり方においては、
完全に自由だ。

ひたすらに釣りまくるのもいい。

仕事や家族を大切にしながら、

余裕がある時に水辺に立つのもまた楽しいものだ。

十人の釣り人がいれば、十通りの人生と、

そして釣りの楽しみ方がある。

お金や仕事で人生を窮屈にした人はいるかもしれない。

でも釣りという遊びに出会って、

人生を貧しくした人などいるのだろうか。

釣りのある人生。

それはきっと釣り人全員にとって、

豊かで、そして楽しい人生に違いない。

